天草高校同窓会で一番古い歴史を誇る「天草高校同窓会中京支部(中京図南会）」会報誌

飛　翔

中京支部ホームページのアドレスです。スマホのカメラで読み込んでください。

発行：天草高校同窓会中京支部(中京図南会）事務局　発行人：福田和幸
ホームページ：amachu.iinaa.net　メール：amatakachubu@gmail.com

来年こそは、平穏な日々が戻りますように

天草の風景/深海町下平(産島からの日の出)　撮影：金子洋子さん(高33)

来年こそは総会開催を

会報26号をお届けします。２０２０年1月に、中国の武漢で、新型コロナウイルスの感染が見つかり、あっとゆうまに世界に拡がり、日本でも感染が拡がり、現在第８波が進行中です。まもなく、３年を経過しますが、感染初期と比べると、対応ワクチンの接種の普及や治療薬の開発もあり、来年（２０２３年）こそは、新型コロナウイルス感染症から、開放され、以前のような平穏な日常が戻ってきて欲しいと思います。

中京支部の総会・懇親会も３年連続で、中止せざるを得ないという状況が続いておりますが、２０２３年こそは、開催できることを祈念しております。

くしくも、天草高校同窓会本部「図南会」では、11月6日(日）に、「大同窓会」を参加者を熊本県内在住者に絞り開催され、91名が参加されたとのことです。他地区の同窓会も対面での総会開催を自粛されている所も未だ多いですが、来年の総会は、世の中の動向を踏まえて開催を判断されると思われます。

この３年間で、中京支部でも、残念ながら訃報が続いておりますが、会員の皆様には、体調に気をつけてご自愛いただき、総会開催のおりには、是非ともご参加頂きますようお願いいたします。

＜中京支部総会・懇親会開催予定のお知らせ＞

2023年（令和5年度）天草高校同窓会中京支部　総会・懇親会は、以下の日程で開催予定です。

開催日時：2023年（令和5年）6月18日（日）11:00～
開催場所：ルブラ王山

コロナも終息して、来年こそは、開催できることを祈ります。

会長挨拶

天草の香りの中京支部へ

中京支部会長　福田和幸（高28）

中京支部の皆様、ご健全でお過ごしでしょうか。コロナ禍の愛知県は10月14日現在で１４３７人となり中水準で横ばいの状況ですが、マスク・換気・短時間の顔合わせはもうすぐの段階まで来ています。ウィズコロナ覚悟の一か八かで同窓会を開催しても良いのでしょうが、御高齢や基礎疾患をお持ちの方も多いので、もうしばらく紙面での開催が続くと思われます。ご勘弁をお願い致します。

さて、ご存知の方も多いと思いますが、愛知県（豊田市・瀬戸市）と天草市の連帯が深くなっているように感じます。「のさり」が背中を押して下さっているようです。豊田市は、三河国足助の足助城主で鈴木家の出身、「鈴木神社」で神様になった方、

鈴木三神

祭神は止三・重成・重辰の三神です。瀬戸市は、瀬戸に磁器の技法を広めた磁祖・加藤民吉が天草で修業をした縁で、友好を築いています。縁はつながっているようです。

磁祖・加藤民吉

どんな状況でも「天からの授かりもの」を受け入れる天草人の性根を、「まあ良かでが、そんうち、でくっと。あんまり、がまださんごと。」と、言ってくれているようです。

11月には横山憲子先輩が、ん十年ぶりに天草の様子を見に行かれました。令和の天草はどんな香りがするのでしょうか。民宿にも滞在されるようなので「憲子の天草見聞録」を、是非とも中京支部会員へも拡散して欲しいところです。

会務報告

2022年4月以降の中京支部の活動状況について報告申し上げます。

①会報25号発行（5月5日）

②会報25号発送作業（5月15日）

役員の皆様総出で会報を３つ折りし、封入作業を実施し、郵送いたしました。ご尽力いただきました役員の皆様ありがとうございました。

③総会開催中止に伴う紙面総会開催（5月5日～）（左記結果参照）

④会報26号発行（12月25日）

＜天草高校同窓会中京支部　紙面総会　結果報告＞

会報誌第25号を、会員の皆様に送付した際に、紙面総会として、
①第1号議案：令和3年度会計報告・令和4年度予算計画の件
②第2号議案：役員承認の件
賛否について、返信ハガキにて、回答を御願いしました。
結果をご報告いたします。　回答総数　４７名
①第1号議案：賛成４７名、反対０名
②第2号議案：賛成４７名、反対０名
以上より、全会一致で承認されました。
会員の皆様ありがとうございました。

コロナ禍による中止イベント

①令和４年度総会・懇親会（6月）
②３支部交流会（9月）

他地区の状況

①あまたか関西
令和４年度総会・懇親会（7月）開催中止
②天草高校同窓会・図南会
令和４年度大同窓会（11月6日）熊本県内在住参加者限定での縮小開催（参加者91名）
③関東あまたか会
令和４年度総会・懇親会（10月）対面総会は中止し、オンライン総会を昨年につづき開催

今後の予定

①天草高校同窓会入会式（2月）於：天草高校

天草市ふるさと応援寄附金

ふるさとへの想いを大切にしながら、全国でご活躍されている皆さま。是非、「ふるさと納税」という応援スタイルで、「ふるさと天草」を元気にするための、まちづくり・人づくりを応援してください。

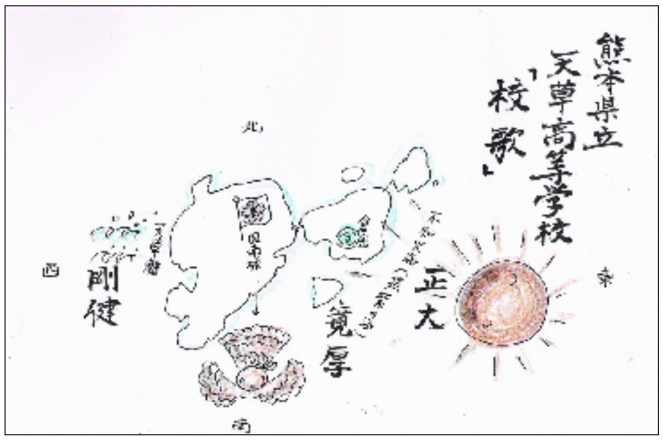
お申込み・お問合せ先
天草市ふるさと納税サポート室
電　話：050-8888-8175（土日祝除く9時～18時）
メール：support@amakusa.furusato-lg.jp
ふるさとチョイス　楽天

天草市を1年間でご堪能いただける定期便です♪
【定期便12回】天草市堪能12ヵ月定期便

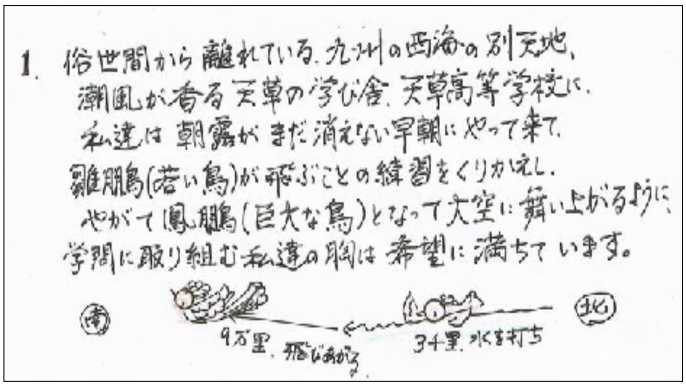
【特集】天草高校校歌

天草高校校歌の現代語での解釈を吉田和美さん（高17卒）に行っていただきました。現代語解釈して校歌を歌ってみて下さい。

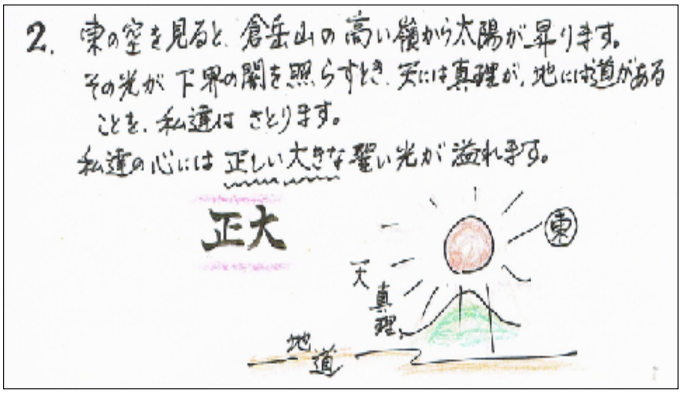
熊本県立
「天草高等学校
校歌」
大正8年5月制定
作詞 船勢 直
作曲 大童球渓



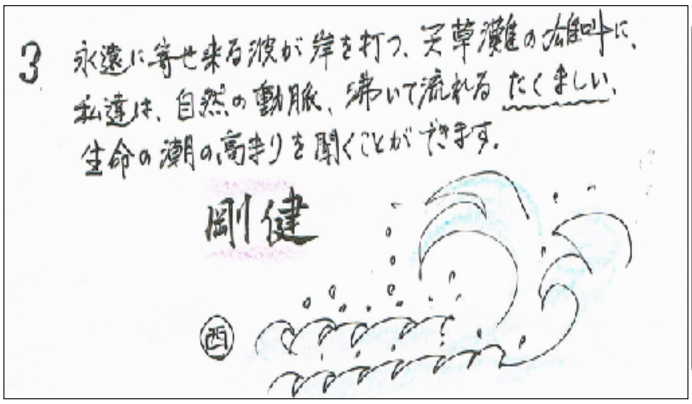
1. 俗世間から離れている、九州の西海の別天地、
潮風が香る天草の学び舎、天草高等学校に、
私達は朝露がまだ消えない早朝にやって来て、
雛鵬(若い鳥)が飛ぶことの練習をくりかえし、
やがて鳳鵬(巨大な鳥)となって大空に舞い上がるように、
学問に取り組む私達の胸は希望に満ちています。



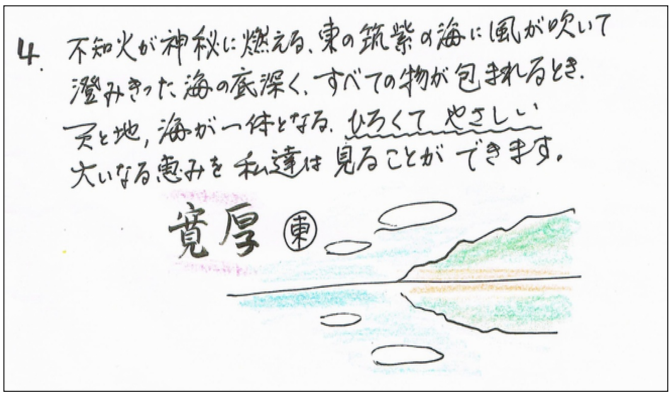
2. 東の空を見ると、倉岳山の高い嶺から太陽が昇ります。
その光が下界の闇を照らすとき、天には真理が、地には道があることを、私達はさとります。
私達の心には正しい大きな輝い光が溢れます。



3. 永遠に寄せ来る波が岸を打つ、天草灘の雄叫に、
私達は、自然の動脈、沸いて流れる たくましい、
生命の潮の高鳴りを聞くことができます。



4. 不知火が神秘に燃える、東の筑紫の海に風が吹いて
澄みきった、海の底深く、すべての物が包まれるとき、
天と地、海が一体となる、ひろくて やさしい
大いなる恵みを私達は見ることができます。



【校歌原文】

一、塵寰遠く隔てたる　ああ西海の別天地
潮風薫る苓洲の　学びの園の露分けて
飛翔を習う雛鵬の 胸は希望に燃ゆる哉

二、振放みれば倉岳の 高嶺を出づる天つ日の
下界の暗を照らす時 天には真理地には道
人の心に「正大」の　聖き光ぞ溢るなる

三、時永久に寄る波の 鞺鞳として岸をうつ
天草灘の雄叫に　聞けや自然の動脈を
沸きて流るる「剛健」の 生命の潮の高鳴りを

四、神秘ぞ燃ゆる不知火の　筑紫の海に風凪ぎて
澄むや千尋の底深く　万象影を涵す時
一視同仁隔てなき　「寛厚」の徳君見ずや

校歌本文　　解釈　（旧職員田口孝雄先生（現：鈴木神社宮司）による解釈文です。）比較して見て下さい。

一　塵寰（ｼﾞﾝｶﾝ）遠く隔てたる　　ああ西海（ｾｲｶｲ）の別天地
　潮風薫る苓洲（ﾚｲｼｭｳ）の　　学びの園の露分けて
　飛翔（ﾋｼｮｳ）を習ふ雛鵬（ｽｳﾎｳ）の　　胸は希望に燃ゆる哉

ごみごみした俗世間から遠く隔たったここ天草は　ああ、まさに西海の別天地だ。
潮の香漂う天草の、その天草高校に朝早くから登校して励む生徒たち－やがて大空高く飛翔する日のために、「飛ぶ」練習に余念のない鵬(おおとり)の雛のような若者たち－の胸は大きな希望に燃えている。
○塵寰…ごみごみとした俗世間。（＝人間）
○苓州…「天草」のことを別名「苓洲」という。「苓」は薬草として知られる甘草（ｶﾝｿﾞｳ）のこと。
　　それを読み替えて甘草→天草とした。江戸時代の中国趣味からでたシャレである。
○雛鵬…「鵬」とは想像上の巨大な鳥で、「おおとり」と読む。
　　何者にもとらわれない自由の象徴として、また、大事業をなす人物の比喩として用いる。
　　「雛鵬」はそのヒナ。将来、大人物になる若者に喩える。鵬雛・鳳雛も同じ。

二　振り放（サ）けみれば倉岳の　　高嶺（ﾀｶﾈ）を出づる天（ｱﾏ）つ日の
　下界の闇（ﾔﾐ）を照らす時　　天（ｱﾒ）には真理（ﾏｺﾄ）　地には道
　人の心に「正大」の　　聖（ｷﾖ）き光ぞ溢（ｱﾌ）るなる

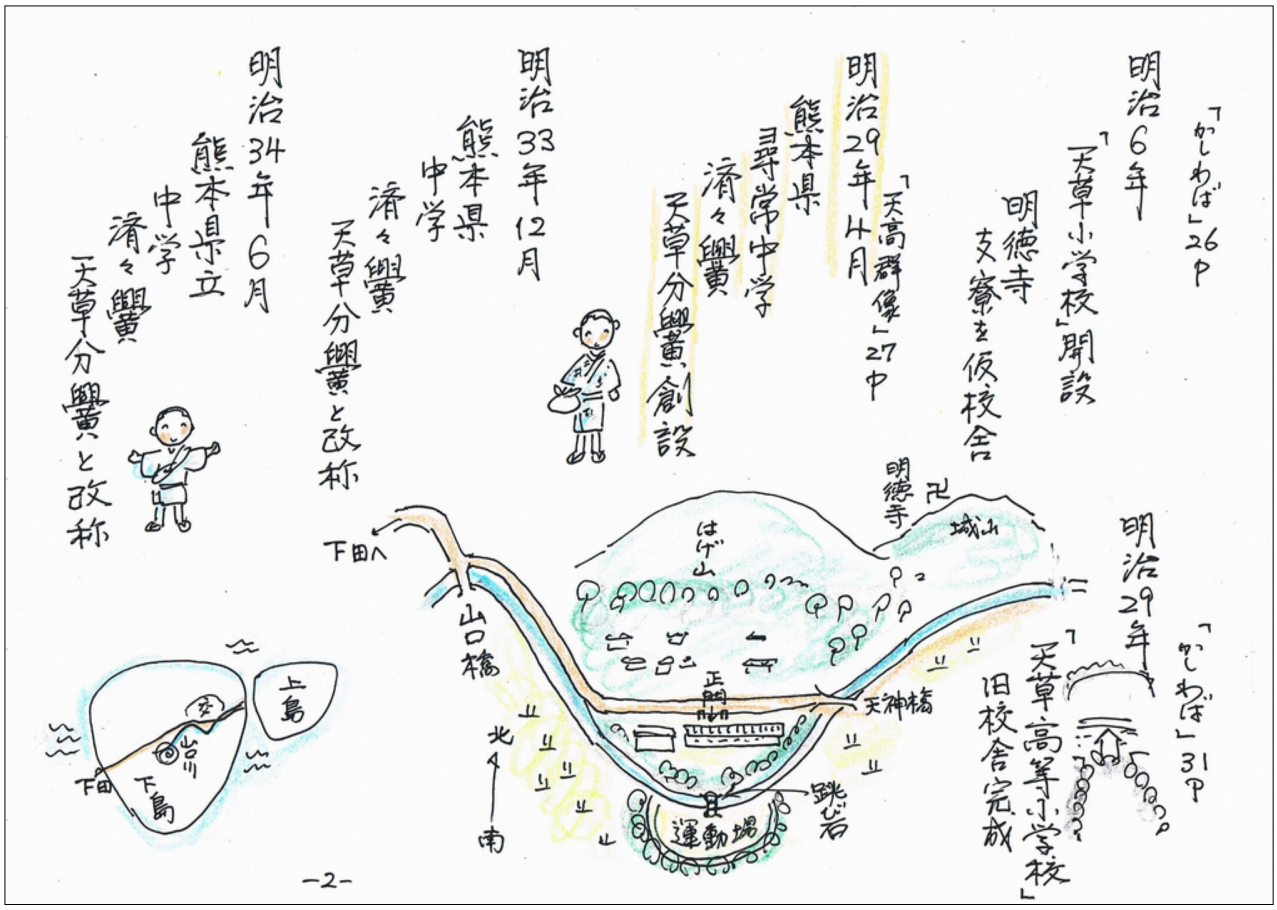
遠く仰ぎ見ると、倉岳の高峰から今しも太陽が昇るところだ。
あの太陽が下界の闇をあまねく照らす時
天には真理が、地には道が明らかになる。
そして人の心には「正大」という聖い光が溢れることだなあ。
○倉岳…天草諸島の最高峰。
○天つ日…太陽。「つ」は「の」と同じ連体格の助詞。
　　さし昇る朝日の爽やかさ、地上を遍く照らす太陽のイメージを綱領の「正大」（＝正しくすがすがしい）と結合させてある。
○ぞ…強調の係り結び。「なる（なり）」は伝聞・推定の助動詞の連体詞だがが、ここは詠嘆の用法。

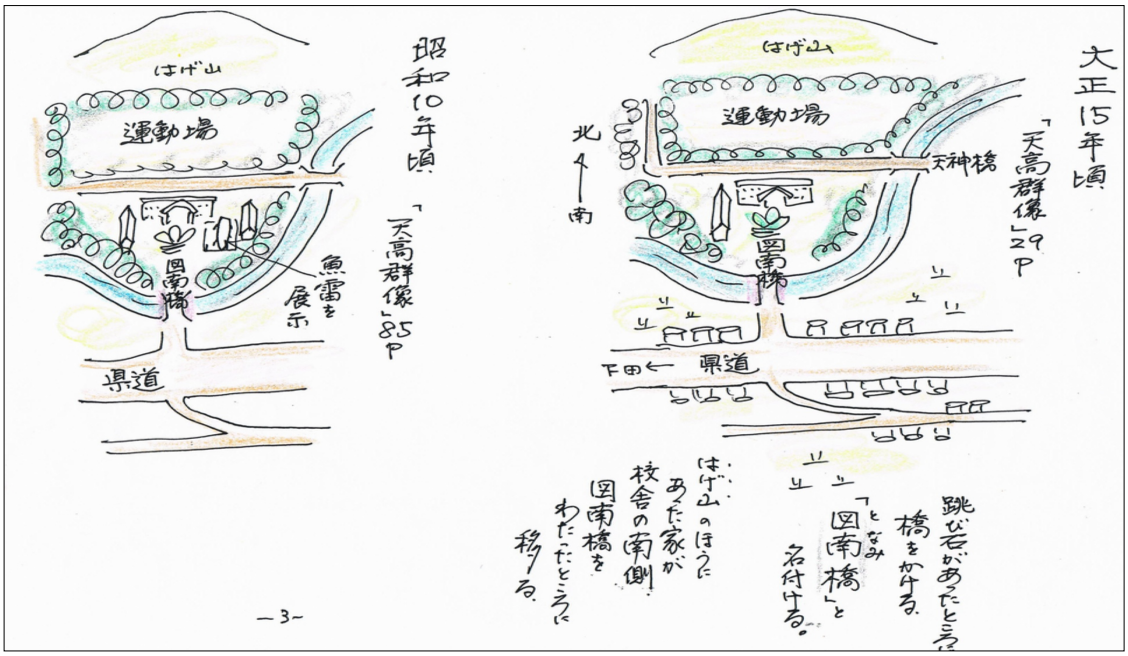
三　時永久（ﾄｺｼｴ）に寄る波の　　とう鞳（ﾄｳ）として岸を打つ
　天草灘の雄叫び（ｵﾀｹﾋﾞ）に　　聞けや自然の動脈を
　沸きて流るる「剛健」の　　生命（ｲﾉﾁ）の潮の高鳴りを

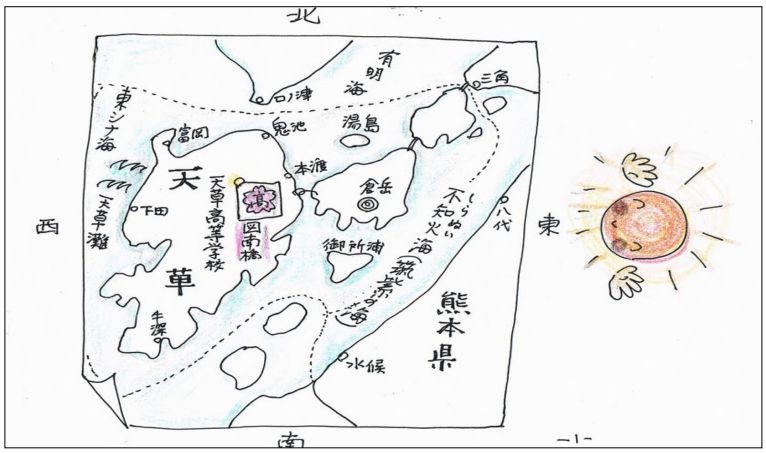
太古から絶えることなく寄せる波がドドーン、ドドーンと岸を打つ。
その天草灘の、雄叫びのような潮の音に自然の力強い鼓動を聞くのだ。
沸きあがり、流れてやまぬ「剛健」の生命の潮の高鳴りをそこに聞くのだ。
○鞳鞳…太鼓・滝などのドーン・ドドーッといった感じの形容。よみは「とうとう」が正しい。
○剛健…心身ともに強くたくましいこと。
　　「質実剛健」ともいう。その場合は実質を重んじ虚飾を排する意味合いが加わる。
　　天草西海岸の激しく男性的なイメージと結合させてある。

四　神秘ぞ燃ゆる不知火（ｼﾗﾇﾋ）の　　筑紫の海に風凪（ﾅ）ぎて
　澄むや千尋の底深く　　万象影を涵（ﾋﾀ）す時
　一視同仁　隔てなき　　「寛厚」の徳　君見ずや

不知火が神秘的に燃える天草の東の海。
風は穏やかに凪いで千尋の底深くまで澄んだその海がありとあらゆるものをつつみこむ時、
すべてを分けへだてなく受け入れ、愛する「寛厚」の徳を、君はそこに見るだろう。
○不知火…古くは「筑紫」の枕詞としても用いられたが、ここでは実質的な意味を担っている。
○筑紫の海…九州の海の意だが、ここでは三番の歌詞の対応からも、天草の東側の海全体
　　（不知火海＝八代海と有明海）を指すと解するのがよい。
○万象…すべてのもの。
○一視同仁…すべてのものを平等に愛すること。
○寛厚…心がひろく、やさしいこと。豊かな海の包容力、浄化能力、そして東の海の穏やかで女性的なイメージと結合させてある。


明治6年
「天草小学校」開設
明徳寺
支寮を仮校舎
「かしわば」26P
明治29年4月
「天高群像」27P
熊本県
尋常中学
済々黌
天草分黌、創設
明治33年12月
熊本県
中学
済々黌
天草分黌と改称
明治34年6月
熊本県立
中学
済々黌
天草分黌と改称
明治29年
「天草高等小学校」
旧校舎完成
「かしわば」31P
明徳寺
城山
はげ山
下田へ
山口橋
正門
天神橋
北
南
跳び岩
運動場
上島
下島
下田
-2-


昭和10年頃
「天高群像」85P
はげ山
運動場
図南橋
魚雷を展示
県道
大正15年頃
「天高群像」29P
はげ山
運動場
天神橋
北
南
図南橋
県道
下田
跳び岩があったところは橋をかける。
「となみ図南橋」と名付ける。
はげ山のほうにあった家が校舎の南側図南橋をわたったところに移る。
-3-


北
有明海
三角
口津
鬼池
湯島
富岡
本渡
東シナ海
天草灘
下田
天草高等学校
図南橋
天草
西
東
岳
御所浦
不知火海
八代
熊本県
牛深
水俣
南
-1-

会員の皆さんからのメッセージ

会報25号の紙面総会回答の返信ハガキで、皆様から届いたメッセージをご紹介します。（掲載順は、到着順です。基本的に原文のまま掲載させていただきますが、個人情報に関する部分は、一部割愛させていただきましたので、ご了解ください。）

●橋本浩二さん（高12卒）
元気にしております。

●鈴谷　政城さん（高15卒）
役員の皆様ご苦労様です。病気療養中により欠席します。

●北野　忠夫さん（高14卒）
平穏な世の中（世界）に一日も早くなりますように。笑顔で会える日が来年は実現しますように。皆様のご健康をお祈り致します。

●加藤　邦子さん（高15卒）
事務局の小山様には何から何までお世話をいただきほんとうに感謝しております。ありがとうございます。”飛翔”もとても美しい刷り上がりで内容も充実して一気に読んでしまいました。これからもよろしくお願い致します。

●北川　美和さん（高33卒）
コロナがなかなか落ちつかず息苦しい日々です。特養で働いているので、県外へでかける事もできず、早く落ちついてほしいと想い、すごしています。天草へも帰ることができず、なつかしさがつのるばかりです。

●亀川　隆さん（高24卒）
映画「のさりの島」を鑑賞させて頂きました。そのままを受け入れるという事で私の母（92才）そのものの感がしました。

●岡田　明さん（高7卒）
よろしくお願いします。

●金田　まりさん（高39卒）
長年、会報誌等のご送付ありがとうございましたが、是を以て名簿はございますが、より削除していただきたいと思います。宜しくお願い致します。

●荒木　誠喜さん（高9卒）
すばらしい会報ありがとうございます。幹事の皆様のご苦労に頭が下がります。今後ともよろしくお願いします。

●松田　信孝さん（高16卒）
私は2021年10月26日に生まれ故郷の天草に帰りました。よろしくお願いします。

●吉田　和美さん（高17卒）
天草と天草高等学校に関する書物を読んで、「天草高等学校沿革史」をまとめてみました。明治29年4月に熊本県尋常中学濟々黌天草分黌として創設され、大正15年頃、図南橋がかけられ、大正元年に創立された天草養正女学校と共に昭和23年熊本県立天草高等学校と天草女子高等学校となった両校が昭和24年4月に、男女共学の熊本県立天草高等学校と成ったことは感慨深い歴史の一端です。天草高等学校「校歌」は天草の大自然と私達の心意気、心構えを描いたグローバルな「校歌」であると思います。誇りを持って、在校生、同窓生、みんなで力強く、胸を張って歌いたいと思います。

●田中美奈代さん（高23卒）
各役員の皆様方にはお世話様になります。総会も行われないとの事、残念に思いますが、皆様が健康で過ごされる事が一番と思います。紙面総会ありがとうございます。

●大谷　寛さん（高25卒）・大谷　千賀子さん（高30卒）
天草に用事がある方、お手伝いできることがありましたら、言って下さい。天草出張所、頑張ります。

●佐古恵子さん（高26卒）
役員の皆様のお骨折りに心より感謝申し上げます。会報の充実も本当にすばらしいです。コロナがおちつき、来年の総会が開催され皆様のお元気な顔が見られたら嬉しいです。

●中原一郎さん（高16卒）
「飛翔」第25号は中京支部40周年記念号でした。栄光もあれば挫折もあった筈ですが、編集後記にさらっと触れるにとどめられたあたり編集者の思慮に思いやると品格を感じています。その後の新生・中京図南会の見事な活動には目を見張るばかりです。

（1）「紙面総会」はコロナ禍克服の方策として着想が良いですね。よくぞ工夫されたものです。

（2）財政逼迫の中、会報誌年2回発行は英断でした。私なりに応援したいので、この英断に対して寄付をさせていただきます。

（3）今回の特別付録は、魚貫炭鉱でした。「・・・よくボタを採って帰りました。ゴメンナサイ。」のところを読んでグッときました。天草の地質の話は詳しいので気に入っています。

（4）「天草ライフ」の記事や「各地区同窓会からのお知らせ」など盛沢山なので、50ｇギリギリの郵送は大変だろうと思っています。私は同窓会のホームページを見ていますので郵送を省略して貰っても構いません。節減第一です

●小山　康志さん（高26卒）
「明けない夜はない」コロナも

終息して、元気な姿でお会いしましょう！。

●玉田　光一さん(高33卒)
封筒の名前の漢字が違っています。訂正願います。。

●尾田原茂捻さん(高12卒)
中京支部活動ご苦労様です。この2年間で体調悪くして種々の活動に参加できなくなりました。皆様のご活躍を祈っています。

●山田　順子さん(高33卒)
遅くなり申し訳ありません。

●横山　憲子さん(高13卒)
遅くなりました！相次ぐ訃報による退会・・・新会員の確保の難しさ・・・を考えると先行き不安がつのるばかりですね！例えばご遺族が望むなら～賛助会員と言う新しい枠をもうけるのって難しいですかね！

●伊藤兼行さん(高18卒)
令和5年6月18日中京支部の皆様とルブラ王山での再会を楽しみにこの一年頑張ります。。

●生本　照美さん(高23卒)
いつも会報を送っていただき、ありがとうございます。遅くなりましたが、8月23日年会費を払込みました。私事ではありますが、古希を迎えて身辺の整理をしていかなくてはと思い、今回をもって会を辞したいと思います。永い間ありがとうございました。これからのご活躍を祈願しております。

●下世　稔子さん(高14卒)

荒木啓治朗さんと同期です。令和1年、2年、3年と老人会の会長をやる事になりました。令和2年の時全国老人クラブより表彰されました。クラブは8クラブ有り、表彰を受けたのは愛知県で3クラブだけでした。中日新聞にも掲載して下さり、大いに励みとなりました。会費1万円を同封しました。
（左の記事は、中日新聞（なごや東版）2020年10月20日号で、日進市長を表敬訪問された模様を掲載されたものです。）

輝く高齢者 たたえる

平子台シニアクラブ　全国連合会から「活動賞」

日進市長に喜び報告

日進市東山の平子台シニアクラブが、全国老人クラブ連合会の本年度の「活動賞」を受賞した。下世稔子会長（七七）と市老人クラブ連合会の神野建二会長（七七）が六日、市役所で近藤裕貴市長に報告した。同賞は、先進的な取り組みを行う団体に贈られ、県内では四団体が選ばれた。

（平木友見子）

同クラブは二〇一三年に結成。週一回、四十分ほど天白川沿いを歩く散歩クラブや、マージャンクラブなど八種類のクラブを開く。また交流を深める「日カフェや、女性だけで歌を歌ったり、お茶を飲んだりする「女子会」も行っている。会員数は現在、七十～八十代の百三人で、太極拳クラブには男性の参加も多いという。

新型コロナウイルスの影響で三月から約四カ月間、すべての活動を中止。ようやく六月末に、感染防止対策をとって再開すると、「やっとみんなと話ができる」と喜ぶ会員が多かったという。現在は、カラオケとグラウンドゴルフのみ中止している。

神野会長は「継続して活動するのは難しいが、このクラブは昨年から太極拳を取り入れるなど活発に活動している」と評価。下世会長は「こんな小さなクラブがなぜ選ばれたのかとびっくり。誰彼となく、元気かなとお互いに気にしあうクラブの雰囲気はとってもいいと思っています」と話していた。

近藤市長宛に受賞を報告した下世会長（中）と神野会長＝日進市役所で

訃報

次の方々の訃報が判明しました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

●岩佐かおるさん（高女32卒）

●清水恵子さん（高11卒）

訃報情報が判明しましたら、事務局までご連絡ください。

会報誌寄稿の御願い

会報編集部では、会員の皆様にためになる、喜んでいただける「会報誌」を作成し、お届けしたいと考えております。つきましては、会員同士のコミュニケーション向上を目指し、会員の皆様からの寄稿を募集しております。「コロナ禍での生活で想うこと」「天草への想い」「私の好きなこと」「私の趣味・習い事」などなんでも構いませんので宜しくお願いします。　寄稿いただける方は、同封の返信ハガキのメッセージ欄あるいは事務局のメール（表紙に掲載）あるいは、LINEに参加いただき、事務局までお送りください。よろしくお願いいたします。また、会報作成に御協力いただける方を探しております。編集部を助けて下さい。ヘルプ・ミー！

特別寄稿

天高五回生歌バカ老人

ボニージャックス　玉田元康（高5）

18歳で大学に入り、入学式に出て来たグリークラブの「都の西北」にシビレ、ふらふらっと入部した。

その時点では歌うことを生涯の趣味にとは思っていたが、まさか、それから70年合唱ひと筋、歌ひと筋の生活を送ることになるとまでは、思ってもみなかった。

学生時代も、ワセダ卒というより、ワセグリ卒と言うのが適切と言ったありさま。その後グリークラブ仲間と「ボニージャックス」を結成してからは、それで飯を食うことに！

今年米寿の私、18からここまで70年は歌バカ人生であった。

その間、何度も中京地区の各地でコンサートを開いたが、同窓会中京支部と親密になったのは、平成24年6月の中京支部創立30周年の大会に私個人での招きを受けてからだ。懐かしい5回生の面々との再会のみならず、幹事の皆様と親しく交流することができた。

その後、豊田市での賠償千恵子とのジョイントコンサートの折、訪ね来られた横山憲子さんと同じ旧満州生まれで意気投合、コロナ禍の最中、横山さんの招きで、令和2年3月の楽風なる珈琲香房で、私のソロライブを決行していただいたり、映画「のさりの島」の上映会を山本監督を招いて開催の折、馳せ参じるなど交流を深めている。

昨年8月ボニージャックスのトップテナー西脇久夫が他界したが、三人でシツコク活動を続け、今年5月には名古屋と豊田でコンサートを開催した。同窓会の皆さんも多数おいでいただき大いに感謝している。豊田では、市長もおいでいただき、早稲田同窓のよしみでステージ上で交歓した。

名古屋でのコンサート（5月）

豊田市長（右から2人目）とボニージャックス

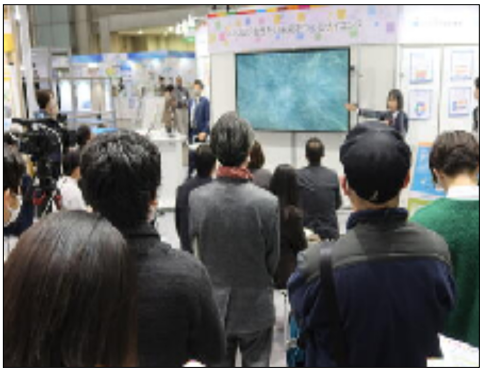
12月7日(水)の名古屋の中村文化小劇場を初めとして、全国で、「クリスマスコンサート」が開催されました。今後も全国で開催のコンサートへの来場をお待ちしています。

天草高校科学部「エコプロ2022」参加

12月7日(水)、8日(木)東京ビッグサイトで開催されたエコプロ2022に、天草高校科学部のアマモ班が参加しました。

今回は「STI for SDGs」アワードの次世代賞を受賞した研究を発表しました。発表はJST（国立研究開発法人　科学技術振興機構）のブース内で行いました。参加初日は、終日のパネル前と、30分のブース内でのミニセミナーを行いました。

校外学習の小中学生や企業の大人の方々などが来場され、多くの方々にアマモ班の研究を発表しました。同窓会の方も、「関東あまたか会」の皆さんが応援に駆け付けました。中京支部も今後の活躍を応援します。



達者だったバアちゃんが、突然「一人は寂しい」と言った。家の取り壊しと片付けを巡る、バアちゃんの一夏のレクイエム。

『のさりの島』監督　山本起也

『ツヒノスミカ』2023年1月22日（日）18時 楽風で上映

今年の1月8日。天草出身の横山憲子さんに導かれ『のさりの島』を豊田市のカフェ楽風で上映いただいてから一年が経ちます。この間、熊本、東京、札幌、長崎など本当に多くの場所で『のさりの島』を上映いただきました。新年2023年1月21日（土）、ちょうど一年後に、豊田カフェで再び『のさりの島』を上映いただくことになり、感慨深いものがあります。

本当に驚くのは、全国どこで上映しても、必ず「天草出身です」と声をかけて下さる方々と巡り会えることです。驚嘆するほどに、全国隈なく、天草を郷里と慕う方々がいることに、驚きを禁じ得ません。おまけに、先日11月26日には、『のさりの島』をご覧になった方々が全国から天草に集まり、『のさりの島』ロケ地巡りが開催されました。天草の魅力に惹きつけられ、縁もゆかりもない方々が全国から30名も天草に訪れ、本渡の銀天街や第一映劇、崎津などを回りました。『のさりの島』から発せられたマグマは、まだ冷えることなく、じわじわとご覧いただいた皆さまの中に浸透を続けております。

ただ、残念なことに、こうした上映活動も中京地区では今回の豊田カフェでの上映が最後になると思います。どうか皆さま、周囲の皆さまに、天草の心を伝える機会として、1月21日（土）18時からの豊田カフェでの『のさりの島』の上映をご案内下さい。

また、今回は特別上映として、手前味噌ですが私の作品の中で過去に最も高い評価をいただきました『ツヒノスミカ』（スペイン国際映画祭PUNTO DE VISTAジャン・ヴィゴ賞受賞）を、1月22日（日）18時から、豊田市のカフェ楽風で上映します。90歳になる私の実の祖母が、高齢になったため息子夫婦と同居を決めたものの、自身の荷物を捨てられることに抵抗を試みる顛末を追ったドキュメンタリーです。自身の膨大な荷物をどう整理すればいいかという「終活」における悩みをモチーフに、老婆と実の息子の「片付け」に明け暮れる一夏を描いた小品です。皆さまに深い感慨をお届けできればと願っております。私も21日、22日と豊田に駆けつけ、皆さまと映画をめぐるひとときを楽しみにしています。

ドキュメンタリー映画「ツイノスミカ」

『のさりの島』を巡る、今回の豊田市での上映の広まりも、まさに「のさり」だと思います。皆さまどうか、1月21日（土）豊田カフェ『のさりの島』、1月22日（日）楽風『ツヒノスミカ』上映にお越しくださいますよう、宜しくお願いいたします。

（下記上映会の案内をご覧ください。QRコードをスキャンで場所確認できます。）

映画「ツイノスミカ」上映会

上映後山本監督のトークショー有り

- 日時　令和5年1月22日（日）
- 場所：珈琲香房　楽風（らふ）（豊田市駅徒歩２分）

※ 駐車台数が限られており、極力公共交通機関でお越し頂くか、周辺の駐車場をご利用下さい。

入場料：2,000円　ワンドリンク付

開場：17時～　上映：18時～

ご予約：珈琲香房　楽風（らふ）　0565（32）0233

又は　横山（13回生）090-1744-9003（但し15時以降）

映画「のさりの島」上映会

上映後山本監督のトークショー有り

- 日時　令和5年1月21日（土）
- 場所　豊田市民会館内　豊田カフェ（駐車台数多数）
- 入場料 2,000円

＊ワンドリンクオーダーご協力下さい。

- 開場17:30～　・上映18:00～
- ご予約　横山（13回生）携帯090-1744-9003

・昨年お買い求めいただいた未使用の前売券をお持ちの方は、券と差額600円の差額を受付で追加して下さい。

新連載「天草と豊田のつながり」①

このたび、天草と豊田のつながりをテーマに、豊田市にあります平勝寺の住職である佐藤一道さんに、「天草と豊田のつながり」について、連載を御願いすることになりました。お楽しみに。佐藤さんを推薦いただいた横山さんに紹介いただきます。

意外と知らない～天草市と豊田市のご縁

横山憲子（高13）

中京地区にお住まいの皆さん、天草市と豊田市のご縁をご存じでしたか…。20年ほど前に私は佐藤一道さんに出会い、天草と豊田の歴史を聞いてはじめて深いご縁を知りました。

佐藤一道さんは豊田市の山間部にある平勝寺（曹洞宗）のご住職です。平勝寺には国指定の重要文化財である聖観音菩薩坐像をはじめ多くの文化財があります。また盆踊りの原型ともいわれる国指定重要無形民俗文化財「綾渡の夜念仏と盆踊」がおこなわれます。

お盆の時期に平勝寺を訪れ、母の供養に夜念仏を聞いたことがありました。

左の写真は、我が家で母の法事を勤めた時の佐藤住職と私の孫たちです。

佐藤さんは同志社大学工学部を出たエンジニアでしたが、27歳の時出家されました。10年間、修行道場に在籍しその後、平勝寺の住職になり既に33年が経ったそうです。

佐藤さんは今年74歳になりますが、私の中国語の生徒です。佐藤さんは中国、天津の南開大学に留学されました。その後、愛知大学で中国学修士号も取得されました。

そのような佐藤さんに天草と豊田のご縁について連載して頂く様にお願いしたところ、快く引き受けて下さいました。

それでは佐藤さん、宜しくお願い致します。

平勝寺（曹洞宗）住職 佐藤一道

横山先生のご紹介にあずかりました佐藤一道です。

天草高校同窓生の皆さまに豊田と天草のご縁に関するお話をいたします。皆さまの興味を引くことができるかどうか不安ですが、始めます。

豊田と天草の関係は今に始まったことではありません。豊田の一部が三河国足助の庄と呼ばれ、天草が肥前国唐津藩に統治されていた時代に生きたひとりの人物から関係が結ばれました。今から約四百年前のことです。

ゆくゆくは、その人物を中心に話を進めますが、今回はもっと身近に私に関係する天草の話をします。

私たち僧侶はインドの釈尊より代々、弟子が師匠の法を受け継いで今日に至っています。ですからその法統は無数にあります。私の法統の曾祖父は沢木興道（以下「老師」という）です。老師は明治13年、三重県で生まれました。老師が18歳のとき天草郡楠浦村宗心寺の沢田興法師について得度（出家し正式な僧となること）を受けました。

沢木興道（老師）

禅門では一人前の僧侶となるには、まず得度式を挙げ、師匠のもとであらゆることを学びます。その後、道を求めて全国を行脚し、心から信頼できる師匠を探す旅に出るのが慣わしです。沢田興法師のもとで漢詩や書道、お経や仏典を習い、明治32年、行雲流水の如く師を尋ね、道を訪れて老師は天草を去りました。その後、大正時代に入って老師はもう一度、熊本と関係を持ちます。

熊本市の郊外、川尻にある大慈寺で坐禅修行していると、それに共鳴した第五高等学校の学生たちが続々と集まってきました。

当時の五高生は、ほぼ帝大へ入学し末は博士か大臣かとばかり、大威張りで腕白の限りをつくしていたそうです。

これら五高生との交流は老師の一生にとって重要な一転機でした。五高生に出会わなかったら既成宗教の一線を脱することができなかったかもしれません。

「日露戦争から帰って以来、勉強と坐禅で神経が細くなっていたわしも、五高生によって見事につくり直された」と老師は述懐されました。

昭和24年、老師は京都の安泰寺に紫竹林参禅道場を開設しました。

その安泰寺で私は昭和51年に得度を受けました。

安泰寺所有の掛軸を虫干しとき、力強く書かれた書が目に止まりました。

「南無大強精進勇猛仏」と書かれていました。私はその意味と掛軸の由来を聞きました。

この言葉を好んで書いたのは江戸時代初期に天草で活躍した鈴木正三という僧である。沢木老師が天草で入手したものであるとのことでした。

それ以来、天草と鈴木正三に関心をもちました。

その12年後、昭和63年にここ平勝寺の住職になって、此の地が鈴木正三、鈴木重成の生地であることに気が付きました。

鈴木正三史跡公園（豊田市）

それ以来、鈴木正三の著書を読んでいます。

次回以後、鈴木正三とその弟鈴木重成を中心にして豊田と天草のご縁を述べます。

（つづく）

令和4年度会費納入ありがとうございました。

令和4年度の会費(2,000円/年）については、66名のみなさまより納入いただきました。
心より御礼申し上げます。未納の皆様にもご協力お願いいたします。

NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回
1	川崎　伸明	中35	18	荒木　啓治朗	14	35	下田　久	19	52	大谷　寛	25
2	坂本　忠男	併1	19	下世　稔子	14	36	徳田　良美	20	53	中村　ひとみ	26
3	萩原　勲	1	20	北野　忠夫	14	37	打越　千世	20	54	原田　良子	26
4	金澤　嘉子	7	21	向　亮一	15	38	益田　滋	21	55	佐古　恵子	26
5	松下　良悟	9	22	河辺　キヨカ	15	39	錦戸　ルミ子	21	56	小山　康志	26
6	釜口　康昭	9	23	鈴谷　政城	15	40	三屋　紀代美	21	57	福田　和幸	28
7	荒木　誠喜	9	24	武田　勝洋	15	41	田城　正廣	21	58	久野　佐代子	28
8	吉永　成信	9	25	加藤　邦子	15	42	岡田　義昭	22	59	宮崎　和仁	29
9	三原　冨枝	10	26	中原　一郎	16	43	安東　ヒデミ	22	60	大谷　千賀子	30
10	宮崎　逸子	11	27	大塚　學	16	44	平本　隆二	22	61	金子　洋子	33
11	尾田原　茂稔	12	28	佐々木　宣人	16	45	田口　功	22	62	玉田　光一	33
12	諸井　龍一郎	12	29	松田　信孝	16	46	生本　照美	23	63	福田　陽子	33
13	白木　真弓美	12	30	吉田　和美	17	47	田中　美智代	23	64	山田　順子	33
14	平方　良介	12	31	鶴見　リヲ	17	48	本山　弘泰	23	65	松崎　一輝	41
15	中村　ミツエ	定12	32	伴野　ツヨミ	17	49	亀川　隆	24	66	服部　康信	43
16	橋本　浩二	12	33	伊藤　兼行	18	50	杉浦　隆子	25	総計　66名（昨年度73名）		
17	横山　憲子	13	34	原田　洋俊	18	51	近藤　紀代	25			

多額の寄付金・協賛ありがとうございました。

令和4年度も多くの皆様より、寄付金・協賛金を賜りました。心より御礼申し上げます。
中京支部のために、1円も無駄にすることなく活用させていただきます。

NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回
1	坂本　忠男	併1	4	尾田原　茂稔	12	7	大塚　學	16	総計9名（昨年度15名）		
2	故・金子泰孝	1	5	下世　稔子	14	8	中原　一郎	16			
3	松下　良悟	9	6	加藤　邦子	15	9	伊藤　兼行	18			

令和4年度会費未納の方へ　会費納入のお願い　年会費2,000円

中京支部の運営費は、会員の皆様からの会費収入で賄われています。会費は、1人あたり年2,000円で、振込手数料（窓口払203円、ATM払152円）を引くと、1,797円～1,848円です。会費の使用用途は、①会報作成費用（印刷、郵送費）②ホームページ運用費用③他地区同窓会出席費用④天草高校在校生支援費用⑤事務局運営費用（郵送代、通信費、会議室費用）などです。皆様の会費納入のご支援をお願い申し上げます。ご寄付も大歓迎です。

郵便局から同封の振込用紙をご利用ください。

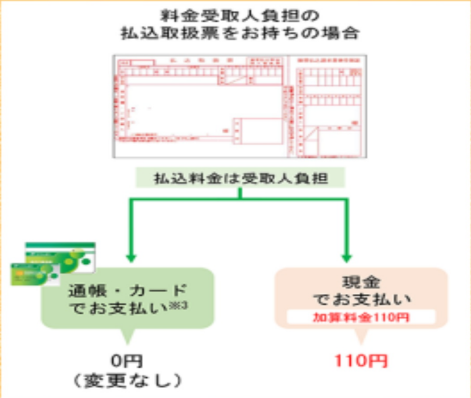
＜郵便振替＞口座番号：００８１０－２－１３５９７８
加入者名：熊本県立天草高等学校同窓会中京支部

一般銀行やオンラインバンキングからは、下記まで振込ください。

銀行名：ゆうちょ銀行、金融機関コード：９９００、店番：０８９
店名：〇八九 店（ゼロハチキユウ店）
預金種目：当座、口座番号：０１３５９７８

郵便口座からのオンライン振込は振込手数料無料です。ご利用ください。

なお、2022年1月17日から、郵便局の窓口やATMにおける各種払込みサービスの利用にあたり、現金で支払いの場合には、1件ごとに料金110円が加算されることになりました。ご負担をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
なお、郵貯通帳または郵貯キャッシュカードを利用し、窓口やATMから支払う場合は、加算料金はかかりませんので、お持ちの方は、ご利用ください。（右図参照）



最近の話題

本渡中学校が全日本吹奏楽コンクールで銀賞受賞

2022年10月22日(日)名古屋市の名古屋国際会議場で開催された第70回全日本吹奏楽コンクール（全日本吹奏楽連盟、朝日新聞社主催）の中学校の部で、熊本県内から九州支部代表として出場した天草市立本渡中学校は、銀賞を受けました。自由曲では「交響曲第1番」（ラフマニノフ）を披露しました。

オーケストラの有名曲に吹奏楽で挑戦し、フルートやサクソフォンで弦楽器のような響きを奏で、観客を魅了しました。中京支部からも、会場に応援にかけつけました。

原田悠里さん天草高校を訪問

天草高校の同窓生で、今年でデビュー40周年を迎えた歌手「原田悠里」さんが、8月10日、天草高校を訪問されました。早速、吹奏楽部の練習に参加されて、原田さんは、「自分の高校時代の話や小さいころから歌手になりたかったけれど親から反対されたので鹿児島大学の教育学部で音楽専科に入り、声楽を学んだことや親を納得させるために横浜で3年間小学校の先生を勤め、その後、北島音楽事務所に入って歌手を目指したこと、今では全国各地を巡っているけれど天草ほど心に響く地も言葉もないということ、「徒然なか」という言葉が残る天草は素敵な故郷だということ。」そして

「夢は叶うよ。私は遠回りしたけれどしっかり叶った。皆も夢をしっかり追いかけなさい」と　熱いメッセージを送られました。

来年1月21日に　デビュー40周年を記念してチャリティーコンサートを本渡で開催されるそうです。是非ご覧ください。

中京支部LINEグループ紹介

中京支部では、LINEグループを設けて、最新情報の提供や情報交換に活用しています。下記のLINE IDに友達登録して下さい。

LINE ID:yasushi_koyama

天草高校同窓会中京支部ホームページ紹介

熊本県立 天草高校同窓会 中京支部

中京支部では、ホームページを設けて、最新のいろいろな情報を提供しております。「天草高校同窓会中京支部」で検索して、ご利用ください。

天草高校同窓会中京支部　検索

<内容紹介>
①同窓会や天草高校および天草に関する最新情報
②中京支部紹介（会則、役員紹介、会報誌、校歌・寮歌、リンク集、談話室など）
③過去の総会・懇親会の映像(YouTube)
④天草市各地のライブ映像
⑤天草高校出身の有名人・著名人　など

URL：amachu.iinaa.net

スマートフォンでアクセスする場合は、右側のQRコードをスキャンしてください。

編集後記

まず、会報第26号の発行が、予定より1か月近く遅くなりましたことをお詫び申し上げます。編集担当者が、天草の実家の90歳になる母親が「ヒラクチ」に噛まれて入院し、介護をどうするかなどで、対応している内に、うつ状態になってしまい、会報編集作業を着手できない状態になってしまいました。3か月に及ぶ入院生活から退院したため、少しずつうつ状態も改善してきたため、何とか力を振り絞り、編集を再開いたしました。今号では、天草高校校歌の現代語訳を吉田さんに御願いして、掲載いたしました。校歌を現代語で解釈していただきました。歌ってみてください。ご覧のように、天草高校同窓会中京支部の運営体制は大変脆弱です。誰か、病気などで倒れてしまうと運営がストップしてしまいます。会報の作成など若い力のご支援を求めています。会員の皆様より、是非中京支部の運営をお手伝いいただける人を募集します。ボランティアとして参加してください。宜しくお願いします。来年の6月には、3年ぶりの総会・懇親会で皆さんにお逢いできることを楽しみにしております。

（小山康志記）